

NPO やすらぎの郷いいの

安心して住み続けられるまちをつくりたい！



😊やすらぎの郷ヘルパーステーションです😊

私達は現在8名のヘルパーで活動しています。
住み慣れたご自宅で、ご利用者様そしてご家族様が心も身体も健康に
過ごすことができるよう笑顔でお手伝いさせていただいています。

ヘルパー募集中 ~私達と一緒に働いてみませんか!!~

ヘルパーには定年がありません。

子供が学校に行っている間

子育てが終り何かしたいと思っている方

資格はあるけど働くことに不安がある方 等々

ご連絡 お待ちしております。(563-4804)



みんなの広場



ボランティアの一言

“やすらぎの郷”にお世話になり2年が過ぎました。私はボランティア部で草刈りを主に活動しております。最初は自分のペースで仕事をしていて仲間に迷惑をかけた

2年目に入って何とか仲間と仕事ができる様になり、利用者さんに「暑い中ご苦労様」と言われた時、自分も人のお役に立てる様になった事が嬉しく思いました。これからも少しでも困っている人を助けて行きたいと思えます。

今はそんな気持ちになっています。今年もフンバリマーす。

<ボランティア 佐藤邦夫>

ービスに行ってお世話になっているおかげです。とても喜んで楽しみにしております。

私も2019年で69歳になろうとしています。2016年6月に、朝大量の吐血をして、救急車で病院に運んでもらい診てもらったところ、食道静脈瘤(血管が破裂)と言われ、内視鏡にて止血をして2週間ほど入院をしました。原因は酒の飲みすぎでした。長年毎日休みなく飲んでいて、先生からは、「アルコール依存症で肝硬変になっているので、禁酒しなければ又再発するよ。再発したら命は保障しない」と言われましたので、これを機会に禁酒しようと決め、現在も禁酒をしています。禁酒前までは、朝晩はほとんど食べなかったんですが、今は三食きちんと食べるようになりました。現在は禁煙に挑戦中です。

みなさん、やる気になればやれるんですよ。おわり。

<利用者家族 松本孫三>

禁酒のすすめ



私の母も96才になりましたが、毎日元気で過ごしています。これもお世話になっているホームヘルパーの方々に毎日世話してもらっているのと、週2回のデイサ

平成 30 年度の事業状況

第 3 四半期(平成 30 年 12 月までの累計)

平成 30 年度の事業状況は、登録ヘルパーさんの出入りはありましたが、当該期間を通して確保できたことと、利用回数も増加したことにより、法人設立以来最高の結果を挙げることができました。

しかしながら、今後も利用者への安定的なサービスを提供するために、引き続き登録ヘルパーさんの増員を図って行かねばならないと考えています。

そのためにも、働く皆さんの処遇を改善すべく、本年度 4 月から処遇改善加算(5.5%の加算)を実施しています。

また、寒い冬場に体調管理してもらうために、防寒用コートを新調して配布しました。

今後も職員皆さんの福利厚生にも努めてまいります。



訪問介護・総合事業計

生活支援活動事業

	利用回数	収入(千円)		利用回数	収入(千円)
30 年度	4,761	14,563	30 年度	84	595
前年度	4,082	10,845	前年度	59	383
増 減	+679	+3,718	増 減	+25	+212

居宅介護支援・認定調査事業

合 計

	利用回数	収入(千円)		利用回数	収入(千円)
30 年度	518	5,748	30 年度	5,363	20,906
前年度	489	5,127	前年度	4,630	16,355
増 減	+29	+621	増 減	+733	+4,551

佐藤信一 副理事長を偲ぶ

理事長 伊藤 敏寛



当NPOの副理事長の佐藤信一さんが去る1月8日に逝去されました。2ヶ月が過ぎましたが、いなくなってしまったことが今でも信じられません。

「NPO やすらぎの郷いいの」を立ち上げた平成 25 年のことを思い起こしました。飯野町からヘルパーステーションが撤退するという話が聞こえてきて、私たちは町民の方々と話し合いを始めました。信一さんに話をしたところ、地域に顔の見えるヘルパーステーションがやっぱり必要だ、飯野の人たちでつくっていこう、と発起人になってもらいました。



信一さんが撮った会報掲載の写真

立ち上げた後も安心して老後を暮らし続ける事ができる地域をどうやって作っていくかを一緒に考え、多くの方々の力を借りて進めてまいりました。実践や悩みなどを語らい、多くの酒飲みもしました。信一さんが去られた事をととても悲しく思います。

信一さんは飯野町に勤務したことをきっかけに飯野町に定住されて14年になります。人や人との関わりを大切にする方で、また行動がとても精力的でした。

今後は信一さんの遺志を継いで、職員と共にNPO やすらぎの郷いいのを発展させ、地域から信頼される法人にしていきたいと思いをします。

“佐藤信一さんを偲ぶ会”を実行委員会を作り開催することで準備をすすめております。参加希望の方は、NPOまでお問い合わせください。

2019 新春交歓会 開催しました

1月26日(土) 午後6時より、えびすやフードセンター2階で「新春交歓会」が開催されました。

開催に先立ち、1月8日に逝去された佐藤信一副理事長に1分間の黙とうを捧げ、本NPO法人の設立からこれまでの運営に多大な功績を残された氏のご冥福をお祈りしました。朝倉前事務局長の逝去から1年余り、当NPO法人に与えられた大きな試練を感じざるを得ませんでした。

交歓会には、賛助会員やボランティアの方の参加が増えて29名の参加となりました。

今年は、参加者全員の方からごあいさつを頂き、地域に根ざした法人として、地域の皆さまに貢献していかねばとの心得を新たにしま



した。当NPOのボランティア活動をしている初めての参加の方より、今後の活動の意気込みが語られ雰囲気盛り上がりました。

会では、えびすやさんのご厚意により、低予算にも関わらずテーブルいっぱいのご馳走に舌鼓を打ちながら、皆さんとの親交を深めるとともに、新しい年の当NPO法人と参加者のご多幸を祈念しました。





“むすびや”も1年を迎えました

昨年、3月20日にオープンしました“むすびや”も1年迎えることができました。“むすびや”は障害福祉サービスの制度を使って「働くことをあきらめた人が働くを実現する場所」「福島一番美味しいおにぎり屋さんを目指す」ことを理念として事業を開始しました。

開設当初からしばらくは不安と苦勞の連続でしたが、予想とは違い認知していただくまではとても速かったです。飯野町の地域の方々が「美味しいから行ってみな！」などひろめていただき、多くの方にご来店いただきました。おにぎりを通じて顔のみえる関係ができ、まさしく「むすびや」だと感じたと同時に飯野町の方の温かさに触れることができました。

現在、多くの従業員さんに来ていただいています。それぞれの方が、「働きたい」という思いを実現し、生き生きとした生活を取り戻しています。



NPO やすらぎの郷いの

福島市飯野町字前川16

TEL 024-563-4804

ホームページ <http://yasuraginosatoiino.jp/>

人にとって、「働くこと」「役割をもつこと」が生活にとってとても重要なことであり、障がいや病気などに伴う体力の低下などを改善できるのだと実感しました。今後は、農業部を立ち上げ、さらに役割を持ち、生き生きした生活を送ることができるようの方が増えることを期待しています。

<就労継続支援B型事業所

アールプラスワークむすびや

若松 秀樹>

一〇一言

当NPOの会報も14号を迎えました。1号から13号まで会報発行の責任者として尽力いただいた佐藤信一さんは、またこの“一〇一言”の記述の担当者でもありました。(S)です。

短い字数の中でその時々をの思いを巧みに表現しておりました。前回は、病床にあって感じた“かけがえのない何気ない日々” “重なりあう濃い緑の丘陵風景と点在する家並、そこで営まれている人々の暮らしと日々交流できるうれしさ”と。飯野の地での生活をとてもうまく表現していると思います。(S)さんの意を引き継ぎ、みんなの思いを紙面につづっていきたいと思います。

(K)

